

決算報告

平成22年度

西条市の一般会計、特別会計、企業会計

財政状況をお知らせします

決算のごあいさつ



西条市長
伊藤宏太郎

平成22年度の西条市の決算がまとまりましたので、お知らせします。

一般会計の決算額は、歳入41億2337万円、歳出417億6402万円で、差し引き23億5935万円の剰余（余り）となっています。このうち翌年度へ繰り越した事業に充てるための財源2億9488万円を除いた実質収支は、20億6447万円の黒字となっています。

各特別会計の決算状況やその概要は、別記（4ページ）のとおりとなっています。

平成22年度は、厳しい財政環境が続く中、（仮称）東部一般廃棄物最終処分場整備や、まちづくり基盤整備事業などを計画的に実施するとともに、産業の振興や雇用の創出など、重要な緊急性の高い施策の選択に努め、限られた財源を有効に活用しながら、市域全体の均衡ある発展と更なる一体感の醸成に向けて、積極的に取り組んでまいりました。

今後とも、簡素で効率的な行政運営を心がけ「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に向け、全力を傾注してまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願いします。

予算・決算とは？

予算とは、1年間の収入（歳入）と支出（歳出）に関する見積もりをまとめた「計画」のことです。決算とは、実際の収支をまとめた「実績」に当たります。

市の会計は3種類

一般会計

福祉や教育、道路整備など、市政運営の基本となる会計です。

特別会計

国民健康保険や介護保険など、一般会計と区分する必要がある特定事業の会計です。

企業会計

企業経営という観点から、独立して経理する会計です。

※本文中の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

市民1人当たりの計算は、平成23年3月31日現在の人口（114,227人）を基にしています。

平成22年度の主な事業

▶スポーツコミュニティセンター整備事業



▶北条周布線道路改良事業



▶桜樹公民館便所新築事業



▶宝来団地整備事業

